



データサイエンスの人文・社会科学分野での応用を目指して 全国に先駆けるデータ活用人材育成プログラム

データサイエンスとの接点を増やし、学部との融合を目指す

学びの機会は授業だけではなく、データサイエンス教育研究センターでは、科目開講のほかにデータサイエンス関連の講演会やシンポジウム、資格試験対策講座、ワークショップなどの課外活動も積極的にを行っています。講演会やシンポジウムは学内の学生・教員、学外の研究者や一般市民など広く対象としており、本学のデータサイエンス研究に関する情報発信や取り組み成果の社会還元を図っています。こういった機会には、多様な専門バックグラウンドを持つ学生や研究者、大学関係者が一堂に会することで、それぞれの専門知識の交流が活発に行われます。そこで他分野の研究内容を参考にした新たな発想が生まれたり、融合研究のきっかけになったりと、データ活用のフィールドがより広がる機会になるでしょう。今後は資格試験対策講座で取り扱う資格コンテンツを充実させたり、学外でのデータサイエンスコンテストなどへの出場を積極的に促したり、活動の幅を広げていきます。

文系ならではの観点から
先進スキルを養う

文系学部4学部からなる成城大学では、「文系学生こそデータサイエンスを学ぼう」というフレーズを掲げ、2015年から全国に先駆け全学的なデータサイエンス教育に取り組んでいます。文系学生の中には、数学やデータといったものに苦手意識を抱いている人も少なくありません。しかし、実際にはデータサイエンスは、AIサービスマシナリーデータ分析といった用途で人文・社会科学分野で大いに活用されるものです。今後データ社会が進んでいく中で、世の中にあふれる膨大な情報をいかに用いて価値を創出できるかを考える思考力こそが、今後文系学生に求められるスキルです。

現在、本学ではデータサイエンス教育研究センターを設置し、学生の情報リテラシー育成に向けて数々の取り組みを推進しています。人文・社会科学分野とデータサイエンスの懸け橋となる人材を育成するため、確かな基礎知識と豊かな発想力を涵養しています。

人文・社会科学分野をはじめとした実社会におけるデータ活用人材を育成するために、本学では取り組みを強化していきまします。目標は、全学生がデータサイエンス科目群を履修することです。学生の選択や学ぶ意欲を尊重するためあえて全学必修化はしていませんが、学生のデータサイエンスに対する積極的な姿勢を涵養し、データを用いて物事を思考するスキルが当たり前になるよう願っています。そのために、開講科目の内容や教育プログラムをより充実させ、一人でも多くの学生がデータサイエンスに触れられるように学びの機会を増やす見込みです。社会に出てからも、データ活用の専門知識を生かし、柔軟な発想力で新たな価値を生み出せるような人材を社会に送り出したいと思えます。



小宮路 雅博
成城大学データサイエンス
教育研究センター長 教授

基礎から発展まで
段階的に学ぶ科目群を整備

データサイエンス教育研究センターの取り組みの中で特に先進的といえるのが、全学部の学生に向けた「データサイエンス科目群」の提供です。科目群は「リテラシー」「応用基礎」「アドバンスド」の3レベル、16科目32単位で構成され、最初のレベルは文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」のリテラシーレベルにも認定されています。科目群は学部学科にかかわらず履修することができます。リテラシー科目で習得した基礎知識をもとに、次の応用基礎科目でプログラミングに挑戦したり、解析したデータを実際に活用してみたりと、データサイエンスが持つ可能性の広が

りを感じられる展開になっています。さらに、発展的な内容を扱うアドバンスド科目では、社会の第一線で活躍するデータサイエンティストを招き、実社会でデータサイエンスがいかに活用されているかを学びます。ここで学んだデータサイエンスの活用事例や、社会課題の分析とその解決に向けた貢献方法を、学部での研究に結びつけることが目的です。

本学ではこれらの科目群の体系的な履修を促すため、3段階の履修証明と対応するオープンバッジを発行しています。所定の科目を履修し、単位を取得すると認定されるもので、学生の意欲向上につながっています。科目群を系統的に学ぶことで、卒業後に社会での即戦力となります。



データサイエンス教育研究センターの取り組み

データサイエンスワークショップ

ワークショップでは、実際に体験しながらデータ分析やプログラミングを学ぶ機会を提供しています。心理実験から得られた大量データを統計分析ソフト[R]を用いて分析したり、プログラミングによるドローンの自動飛行について学んだり、多岐にわたるテーマで開催。今後も、学生が気軽にデータサイエンスに触れられる場を生み出していきます。



データサイエンス研究講演会

本学のデータサイエンスに関する研究成果を社会に発信することを目的に、研究講演会を開催しています。2022年7月9日に開催された会では、データサイエンス教育研究センターに所属する2名の教員による、最先端の研究成果の紹介・報告が行われ、社会動向を捉えた本学の研究力の高さを示す機会になりました。



G検定講習会

日本ディープラーニング協会の主催で、機械学習、AIについての基礎知識を持ち、それを活用する能力があるかを検定する「G検定」。本学では学生のG検定の取得を後押しすべく、「事前数学講習会」「本講習」「対策会」「解説会」の全4回をオンラインで段階的に実施し、手厚い指導を行っています。

